

○ 全国有数の施設園芸産地において、**IoPデータの活用やIPM技術の普及拡大に取り組むとともに、スマート農林漁業技術の導入加速化**や有機農業の拡大等を通じて、温室効果ガスの排出量の削減、化学農薬の使用量の低減等を図る。

【作成主体】 高知県及び県内全34市町村

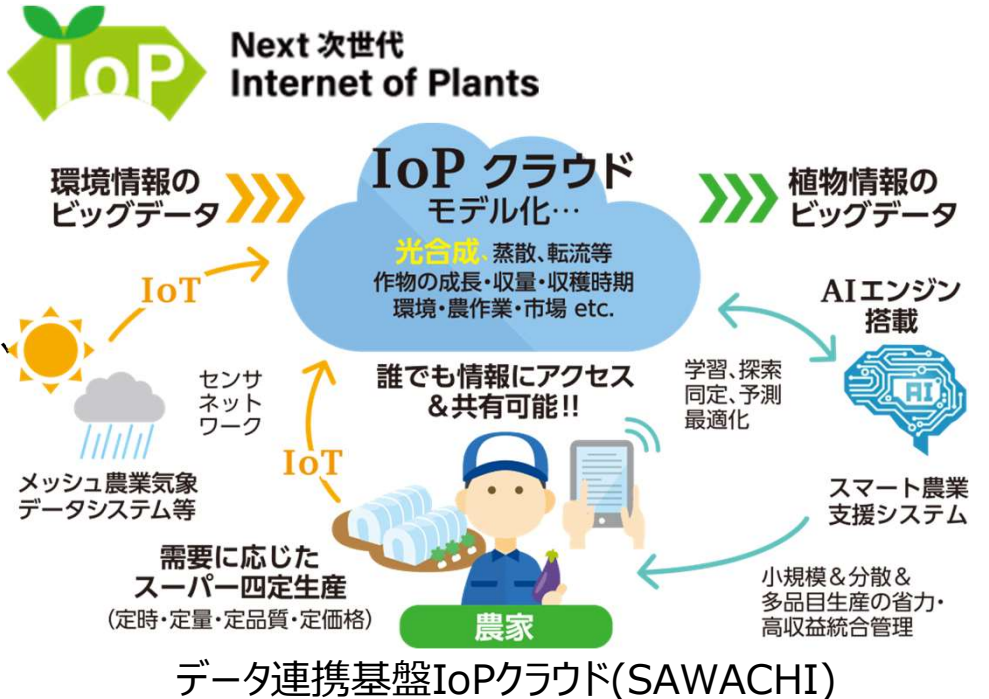
高知県、高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村、本山町、大豊町、土佐町、大川村、いの町、仁淀川町、中土佐町、佐川町、越知町、梶原町、日高村、津野町、四万十町、大月町、三原村、黒潮町

【計画の主な目標】

- ・ 園芸用A重油使用量：R2年比約31%削減（R12）
- ・ IPM技術による防除面積率：R2年比約2.3倍に拡大（R11）
- ・ 有機農業の取組面積：408ha（R2年比約2.7倍）に拡大（R12）等

【取組のポイント】

- ・ データ連携基盤IoPクラウド(SAWACHI)を活用したデータ駆動型農業の推進による省エネ栽培技術の普及
- ・ 施設栽培での保温対策や効率的な加温方法による省エネ対策の普及
- ・ 天敵等を利用したIPM技術の普及



ヒートポンプの導入等による省エネ対策



天敵を利用したIPM技術の普及